

春如海

題字 春如海 揮毫 松山市味酒小教諭 和田 真美 解説は9面



発行所
(財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
URL <http://www.ehime-kyoukukai.jp>

- (12) 愛媛県教育会俳句募集
- (11) 新学習指導要領を踏まえた県教委の取組「未来を拓くキャリア教育」
- (10) 支那だより 東温支部
- (9) (8)「ようこそ」愛媛県教育会へ
- (5) (5)「今、頑張っていること」
- (3)(2) 学校紹介 家申小学校
- (4) 特集「私の挑戦」

学校になくってはならない先生に



元愛媛県小中学校長会長 岡田 武久

新学習指導要領の全面実施は、小学校が平成二十三年度、中学校は今年の四月からである。この学習指導要領では、子どもたちの現状を踏まえ、「生きる力」を育むという理念のもと組織や技能の習得とともに、思考力・判断力・表現力などの育成を重視している。これは、「ゆとり教育」でも「詰め込み教育」でもなく、次代を担う子どもたちに、実社会において必要となる「生きる力」を育成することである。この力を育成するためには、学校だけでなく家庭や地域など社会全体で教育に取り組むことが大切である。

教育とは「子どもにも感動を与えることだ」。これは教育評論家吉岡たすくさんの言葉である。どんなことでも自分の力でやり遂げた喜びは、人間が生きていく上での、大きな光となる。学校でも会社でも同じで、自分の力でやり遂げた喜びと感動を味わってこそ「勉強をした」「仕事をした」と胸を張れるのではないだろうか。

ところで、「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」は伝教大師最澄の言葉である。この教示に感応した安岡正篤師は、次のように述べている。どんな人でも一つの何を何

十年と継続していけば、必ずものになるものだ。別に偉い人になる必要はない。社会のどこにあっても、その立場立場において、なくてはならない人になることである。その仕事を通して、世のため人のために貢献する生き方を考えなければならぬ。その場、その立場においてなくてはならない人になることが一隅を照らすことになるのである。国も社会も会社もすべて自分の向こう側にあると、人はともすれば考えがちであるが、そこに所属する一人ひとりが国であり、社会であり、会社なのである。

東日本大震災はもとより国が激動している今こそ、一隅を照らす生き方が求められているのではないだろうか。子どもたちの未来のためにも、学校になくってはならない先生として、ご活躍されますようお願いしております。

- 一略 歴一 (おかだ・たけひさ)
- 昭和37年 愛媛大学農学部卒業
 - 平成元年 松山市教育委員会指導主事
 - 60年 松山市立北中学校教頭
 - 3年 松山市教委学校教育課長補佐
 - 6年 松山市立窪田小学校長
 - 8年 松山市教委学校教育課長
 - 10年 松山市立道後中学校長
 - 12年 退職

響き

一九六三年の開始から五十回目を迎えた「愛媛マラソン」が、二月五日に開催されました▼二〇一〇年の第四十八回大会から男女マラソンの登録選手の部に加えて一般の部が設けられ、陸連登録がなくても参加できる市民マラソンとして生まれ変わりました▼市民マラソン化に伴い公募を行い、「湯つたりオレンジロード」の愛称がつけられた第五十回大会、過去最多の七、三五二人が思いのスタイルで伊予路を早春の風のように駆け抜けました▼完走できた喜びにゴールで抱き合う姿、ゲストラナーの高橋尚子選手と笑顔でハイタッチをする姿▼また、四十二・一九五キロの道筋でボランティアの人たちが真心こめて大会を支えている姿にふれ選手の頑張る力もさることながら、多くの人たちが互いに応援や感謝をし合っている姿に心から感動しました▼また、御理解・御協力いただいた関係機関のみなさまにお礼と感謝を申し上げます。

ひとこと

社会教育との連携を



愛媛県教育委員会 理事 松田 隆

平成十年に国立社会教育研

究所(現、国立教育政策研究所

社会教育実践研究センター)

で社会教育主事講習を受けた

際に、千葉大学石要一教授

が次のように話されました。

「今の学校は、制度疲労を起

こして崩壊する。崩壊しな

いためには社会教育的手

法・考え方を大胆に取り入

れなければならぬ。」

いろいろな施策が立て続け

に打ち出され、学校が右往左

往していた時期です。教師に

かかる負担が増えるために教

見た時、(制度が複雑になっ
たそのことが根本原因ではな
いけれど)指摘は生きている
ように感じてなりません。

教職員が疲れて学校が崩壊

しないためにも、地域の中

の学校として、学校の施設・機

能・空間・教育活動・運営の

開放、情報公開をより一層進

め、

○学校は地域のために存在

し、地域は学校のために存

在する。

○子どもは、家庭でしつけら

れ、学校で学び、地域で磨

かれる。

○地域において「まなぶ」「む

すぶ」「つなぐ」の有機的

なかかわりが必要

○「町は学校、みんな先生」

子どもたちに、今何が大切

かを教えるのは大人

○地域に共通の規範・戒めが

必要

という考え方を再確認し、学

校を中核とした地域支援の風

土づくりが大切ではないで

しょうか。

(宇和島市立鶴島小学校長)

学校紹介

No.128

愛南町立家串小学校

十九人、バンザイ!

本校は、JR宇和島駅から
車で約四十分、由良半島の付
け根に位置する、海辺の学校
である。校区は、魚神山、油
袋、家串、平礫の四地区から
なり、油袋地区の児童はバス
通学をしている。二十二年度
三十一名いた児童も、二十三
年度は、十九名と激減した。

しかし、「少ない人数を生か

すことを考えよう」という学

校長のかけ声の下、全児童、

教職員、保護者、地域が丸

となり、さまざまな活動に取

り組んでいる。

その一つが、夏休みに行っ

た「しおご」キャンプである。

「しおご」は、家串の沖合に

浮かぶ「塩子島」に由来して

いる。毎年、保護者、地域の

協力を仰ぎ、全校児童が寝食

をとにもにする、一泊二日の

キャンプを行っている。今年

度は、大きな竹を使ったいか

だ作りに保護者とともに汗を

流した。そして完成したいか



だに乗って、班対抗のレース
を行い、保護者の盛大な声援
を受け、大いに盛り上がった。

夕食は、保護者が提供してく

ださった屋台用の大きな鉄板

で、班ごとに自分で焼きそば

を焼いて楽しんだ。朝食も、

鉄板で自分好みの硬さで目玉

焼きを焼き、おいしくいただ

いた。

二つめは、運動会の「家串っ

子 全員集合!」という種目

である。小学生、保育園児、

中高生がチームになって、大

玉転がしを競った。保育所・

小学校・地域は、毎年合同で

運動会を行っているが、保育
園児・小学生がともに競技に
参加することはなかった。そ
こで、今年度は、先輩である
中学生と高校生を交え、地域
の子どもたちがともに参加で
きる種目を考え、参加者を
募ったところ、多くの中高生
が参加してくれた。見に来て
くださったお年寄りをは
じめ多くの地域の方々が、「本
当に、子どもは地域の宝だ」
と喜んで見てくださった。い
た。今後も続けていきたい種
目となった。

最後に一つ自慢をさせてい
ただく。夏井いつき先生の出
身校ということもあり、児童
は普段から俳句作りに励んで
いる。全校で取り組んだ、「夏
休み句集をつくろう!コンテ
スト(マルコポ・コム、日本

俳句教育研究会、朝日新聞社
主催)」で、学校賞最優秀賞
をいただいた。子どもたちの
俳句への取組が評価された、
嬉しいプレゼントとなった。

(教諭 岩崎 順子)

私の挑戦

集私 今、頑張っている人々

私の愛媛マラソン



松山市垣生小学校長
間部 量吉

全身を襲う激痛。もう一歩も前へ進むことができません。迫りくる制限時間。「あと一分です。」力尽きました。二十五・五キロメートル。私の挑戦は終わりました。ゴールへ帰るバスの中で、全力を出しきった満足感に浸っていました。

「愛媛マラソンに出場します。」周囲の反応は、「!?」お腹は突き出て頬はたるみ、外見からだけでも「!?」は予想どおりでした。私自身でさえ、ジョギングをしている人たちを見かけても、自分とは無縁の世界と割り切っているほどでしたから。きつかけは、職場でのちよつとした会話から。冗談が本気に変わるには時間はかかりま

せんでした。様々な要因が一本の糸のように繋がって、やがて「今、走らないと意味がない。」という決意になっていきました。一年前の三月十一日。東日本大震災。学んだ教訓は、「今を生きる」です。

私は、二人の父を癌で亡くしています。父たちの癌との戦いが始まったのが、今の私の年齢でした。三年後に、第二の人生を健康で力強く踏み出したい、そのための自己への挑戦。それが「私の愛媛マラソン」だったのです。

寒さの厳しい中、ゴールで待つていてくれた可愛い女の子（教え子の娘さん）。「よく頑張ったね。」と手作りの金メダルのご褒美。「走ってよかった」感謝を込めてコースに一礼。完走はできませんでしたが、第二の人生に向けて最高のスタート。北風が父たちの笑い声を運んでくれました。

スローなゴルフに夢中



大洲市長浜小学校頭
松田 千壽

は数々ある。私が思う魅力とは、①一緒にプレーする仲間と楽しく競い合うこと、②とても奥の深いスポーツであること、③長く続けられるスポーツであることである。

先日、あるテレビ番組の中で「元氣な百歳」というコーナーがあった。何人かお元氣な方が出演されたが、その中にゴルフをされている男性がいられた。百歳になる今でも、エイジシューターを目指して頑張っておられるということだ。エイジシューターとは、自分の年齢より少ないスコアでコースを回るゴルフアードである。私もエイジシューターを目指して、のんびりとゴルフを楽しみたいと思っている。

光る生き物



今治市南論
徳永 伸也

昔はどこにでもホタルがいたものです。暑さを感じるようになると、夜を待つて裏の川に出かけました。そこには、幻想的な光を放つ生き物が飛

び回っていました。私がホタルの飼育に関わるようになったのは、初任者の頃、山本秀行先生にご指導いただいたのが始まりです。そして、次の勤務校の校区にあったホタル保存会に入り、今も活動を続けています。それからもう四半世紀が過ぎました。保存にとつて最も大切なのは、水をはじめとする適切な環境を保全することです。昔のように、生育に必要な条件が整った場所は多くありません。そのため、人間が手を貸すこととなります。

【眼鏡市場】提携のお知らせ

愛媛県学校生活協同組合連合会は眼鏡市場と提携店の契約を結びました。組合員の皆様は、学校生協のクーポンチラシを店頭へ持参頂きますと、現金もしくはクレジットカードでお買い上げの際に5%割引が適用されます。(補聴器は5%割引対象から外れます)

詳しいお問合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
又は、各郡市学校生協まで



私の保存会での役割は、生態を研究したり、孵化をさせたりすることです。ご存じのように成虫の命は一週間ほどです。成虫を捕獲して産卵させ、孵化した幼虫の一部は川に放流し、残りは翌年まで水槽で飼育します。幼虫を外敵から守り、生存率を高めるためです。餌のカワニナの確保や温度管理もしなければなりません。熱帯魚のように見栄えはよくありませんが、幼虫の発光や孵化直前の卵の発光は大変神秘的です。毎年、何万匹も孵化させ、孵化数を数えたり、飼育したりしていますが、苦勞と感じなくなりました。今夜も我が家では何百匹かの幼虫が光っています。ホタルの幼虫が闇夜で光るように、見栄えはよくなくても光っていられる人間になりました。

ささやかな挑戦



北宇和支部 OB 芝田 邦彦

現職時の不摂生がたたって

か定年を間近にして体調を崩し、爾来、持病に苦しんでいます。しかし、このまま朽ち果ててしまうのもくやしきと思ひ、若い頃からの念願であった「英会話」の教室に通うことにした。念願の学習であったが、単語が覚えられない、何度辞書を引いても覚えられない。「鉄は熱いうちに打て」という言葉は真実である。今、冷え切った鉄を打ち続けている。「遅すぎる挑戦」である。「何を今さら」と人は言うし自分でもそう思う。でも思い直し、毎日、パソコンのソフトとにらめっこしてドリル学習をしている。もう「繰り返す」しか手がない。辞書も数冊買っては各部屋やトイレにまで置いて疑問に思ったときはすぐにひいたり、車の中ではCDを聞き「学習の生活化」を試みている。学習の目的のひとつは最近とみに低下してゆく脳の活性化、つまり「脳トレ」である。さらに町のALIT（英語指導助手）の生活サポーターと称して（自称）ささやかなお世話をさせてもらっている。また、この町を訪れる外国人を案内

させてもらったりしてささやかな国際交流に貢献しているとのひそかな思いもある。英語ができるのと十億人と話せるといわれる。これからの国際社会を生き抜くためには英語は最大の武器にもなる。何でもいい生涯学び続けることの喜びと大切さを思う。自身の体調に気を遣いながら終わりの日までささやかな学びを続けたい。

私のマラソン



江之川市立中央中学校 校長 宮内 則人

四二の厄払いの代わりに四二キロを走ってみようと思いついたのがマラソンをはじめたきっかけである。それが五八歳になる今も続いている。マラソンで三十キロを過ぎるといつも思う。「歩きたい」「やめたい」そしてゴールしたらいつも決意する。「今日は失敗した。もつと練習しよう」次のレースのスタートの時いつも考える。「忙しい中まあまあ練習した。ペース配

分に気をつければほどほどの結果は出るはずだ。』しかし、毎回オーバーペースになり、終盤にまたまた地獄を見てしまう。この繰り返しの繰り返し。満足に走り切れたことがこれまで数回あったかどうか。それでも、やめられないのは、走った後の達成感と充実感が何物にも変えられない宝物だからだろうか。マラソンはいろいろなことを教えてくれる。

- ① 自分を知り、自分の力を一〇〇%出し切ること。
- ② 人の動きに惑わされず自分のペースでこつこつ走り切ること。
- ③ 疲れた時には無理をせず早目早目のエネルギー補給をすること。
- ④ 「絶対ゴールする」「目標タイムを切る」という強い気持ちをもつこと。

こう考えると、マラソンを人生に例える人がいるのも納得できる。

ということ、今私が頑張っているのは、二十回目のフルマラソン完走に向けて、日々年相応の練習に真面目に取り組むことである。

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

石川遼のような生命保険へ。
予期せぬトラブルにリカバリーショット！

順風ライフ

5年ごと配当付終身保険

第一生命保険株式会社 松山支社
〒790-8691 愛媛県松山市二番町3-5-5 松山二番町第一生命ビル5F
Tel. 089-941-0147(代) 受付時間：平日午前9時～午後5時

平成 23 年度 小学校国語教科書準拠 指導用パソコンソフト
光村 **国語デジタル教科書** 税込定価 1～6年 各学年 68,250 円

平成 24 年度 中学校国語教科書準拠 指導用パソコンソフト
光村 **「国語デジタル教科書」** 中学校版 税込定価 1～3年 各学年 68,250 円

光村図書出版株式会社 <http://www.mitsumura-tosho.co.jp>
■本 社 〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9
Tel. 03-3493-2111 Fax. 03-3493-2177
■中四国支社 〒730-0012 広島市中区上八丁堀 8-8 第一ウエノヤビル 5F
Tel. 082-224-5931 Fax. 082-224-5937

絆 KIZUNA
愛媛教育の創造



エスポワール(希望) 愛媛文教会館

「ようこそ！」 (財)愛媛県教育会へ



躍進
葵展

EHIME &
EDUCATION

『愛媛県教育会の主な役割』

- 教職員の教育実践・資質向上に役立つ
- 学校・園、教職員、地区教育会、他団体等を結ぶ
- 子どもの学びや県民の生涯学習を支援する
- 文教会館を教職員並びに県民の教養を高める場に提供する

教職員の資質向上・研修

愛媛の教育

- ☆ 教育振興の集い・発表会
 - 「えひめ教育の日」推進フェスティバル
 - 時宜を得た教育講演会・研究会
- ☆ 日連教大会全国大会への派遣
 - 毎年40名～70名の派遣
 - 現退一体となつての研修会の提供
- ☆ 共催事業
 - 各地区教育会主催の研究発表会
 - 「えひめ教育の日」推進大会
- ☆ 後援事業
 - 愛教研教科等各種研修会への助成
 - 全国・中四国研究大会への補助



未来への希望 愛媛文教会館

- 会費の一部が会館の維持整備に役立っています。
- 会員や学校、教育団体が利用し教育振興に努めています。
- 16の団体が入居し、愛媛の教育の中心的役割を担っています。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ★ 愛媛県教育会 | ★ 愛媛県小中学校長会 |
| ★ 愛媛県教育研究協議会 | ★ 愛媛県小中学校教頭会 |
| ★ 愛媛県私立中学高等学校連合会 | ★ 愛媛県国公立幼稚園教育研究協議会 |
| ★ 愛媛県私立幼稚園協会 | ★ 私立中学高等学校保護者会連合会 |
| ★ 愛媛県退職公務員連盟 | ★ 日本教育公務員弘済会愛媛支部 |
| ★ 教職員共済生活協同組合愛媛県事務所 | ★ 日本教育会愛媛県支部 |
| ★ 愛媛県国公立幼稚園PTA連合会 | ★ 愛媛県私立学校退職金社団 |
| ★ 松山市教育会 | ★ 松山市教育研究協議会 |

- ホームページを開設し、情報提供をしています。

URL: <http://www.ehime-kyouikukai.jp>

E-mail(愛媛文教会館): info@ehime-bunkyoikaikan.or.jp

E-mail(愛媛県教育会): info@ehime-kyouikukai.jp



心を支える交流・教育相談

☆ 教育相談事業

- だれにでも 教育相談
 - ・ 不登校、人間関係、発達障害、非行等について
 - ・ 幼児・児童・生徒、保護者、教育関係者

☆ 心の交流事業

- 「えひめ教育の日」の推進
 - ・ 推進大会、推進フェスティバルの実施
 - ・ 「えひめ教育月間」における教育関連事業の推進
- 教育関係団体・機関との連携活動
 - ・ 教育懇談会
 - ・ 愛媛の教育を語る会
 - ・ 18地区教育会との連携活動

私たちが支える 私たちの教育会

明日への活力 出版・広報

☆ 豊かな心、確かな学力を育む出版活動

- 豊かな心を育てる出版事業
 - ・ 「愛媛の伝説」「愛媛のむかし話」
 - ・ 「愛媛子どものための伝記」(20巻60名)
- 確かな学力を育む出版事業
 - ・ 各種テストの編集、教材の開発
 - ・ 「夏休みの学習」の編集
- その他「愛媛県教育関係職員録」

☆ 明日への活力情報文化活動

- 広報誌「愛媛文教月報」の編集・発行(年11回)
- 俳画・水墨画教室
- 俳句・川柳・短歌等の募集・表彰
- 日本連合教育会会報
- 文教画廊展の開催



『平成23年度愛媛県教育会収支予算』

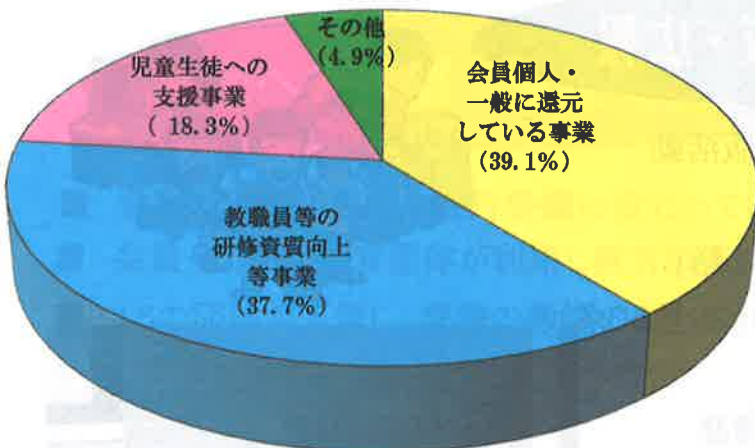
収入 12,200万円

1	会費・入会金	13.8%
	・ 現職教職員・退職教職員 (13,350名)	
	・ PTA・法人・賛助会員等	
2	事業収入	80.2%
	・ 編集出版	35.5%
	・ 会館営業	38.0%
	・ 事務受託料	6.7%
3	寄付金	0.8%
4	繰越金より	2.3%
5	雑収入	2.9%

支出 12,200万円

1	組織運営	1.6%
	・ 評議員会・理事会審議会等	
2	編集出版	19.4%
	・ 編集会費・著作権料等	
3	教育研究・文化活動	3.7%
4	研究・顕彰	2.1%
5	団体等助成金	3.4%
6	会館管理	22.1%
7	事務局費	3.7%
8	人件費	32.4%
9	福利厚生	4.7%
10	借入金返済支出	0.8%
11	予備費・雑費等	6.1%

支出のうち 事業費の使われ方



主な各種団体等への助成

- ★ 愛媛県小中学校長会
- ★ 愛媛県教育研究協議会
- ★ 愛媛県小中学校教頭会
- ★ 愛媛県公立小中学校事務長会
- ★ 御五神島・無人島体験事業
- ★ 県民球団への支援事業
- ★ 舞台芸術体験支援事業
- ★ 「えひめ教育の日」推進会議

県内各地区教育会

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 四国中央教育会 | 2 新居浜教育会 | 3 西条教育会 |
| 4 東予・周桑教育会 | 5 今治・越智教育会 | 6 松山市教育会 |
| 7 東温教育会 | 8 伊予教育会 | 9 上浮穴教育会 |
| 10 大洲教育会 | 11 喜多教育会 | 12 八幡浜教育会 |
| 13 西宇和教育会 | 14 西予教育会 | 15 宇和島教育会 |
| 16 北宇和教育会 | 17 南宇和教育会 | 18 附属教育会 |

(※ 各地区の教育会の名称は仮称です。)

題字に寄せて

はるうみのごとし
春如海



松山市味酒小
教諭
和田 真美

今年の冬は寒さが厳しく、松山でも雪が舞い、登校してきた子がテラスに小さな雪だるまを作ったくらいである。四月号の題字ということで暖かな感じのする「春如海」という文字を選んだ。「春はゆつたりして海のようにである。」という意である。実際には、年度始めということもあり、毎年ゆつたりどころではない。

支部だより

東温支部

温泉・東温教育の底力



事務局長
東温市拝志小教頭
八木 昌宏

十二月三日(土)朝、小雨。今日は東温支部恒例となった「冒険夢の森」の鶯の刈り取り作業を行う。旧川内町を流れる表川のもとにある「冒険夢の森」は、里山の自然を維持しようと地域の方々によって大切にされている場所。

本日の行事は雨天の場合、中止。朝からあいにくの小雨。支部長と連絡を取り合い、「今日ではできませんよね。確認のため取りあえず会場には足を運んでみます。」

「この雨だから、だれも来ていないだろう。中止だろうな。また来年やればいいよね。」くらいの甘い気持ちをもって現場へ向かった。二十分前、到着。現場には



小雨の中、作業道具を手に携え雨合羽を着用したOB・現役の先生方が大勢集合している。その熱気に圧倒された。「雨が降っているのに。」

ところが、作業開始の九時になると雨が落ちてこなくなった。参加者は木々に巻き付いた蔦を黙々と刈り取り始めた。下草についた露や泥で全身ぐっしり濡れてくる。作業を続ける。だんだん気分が清々しくなってきた。蔦を取り払われた木々が喜んでいそう。気持ちが伝わったのだろう。これこそ長年にわたり温泉の教育・東温の教育を支えてきた底力だと実感した。作業が終わったとたんまた雨が降り出した。

ローカルトピックス

西予ジオパーク
須崎海岸

つい最近「西予ジオパーク構想」なる活動が進められていくことを知った。大地(ジオ)に関わる自然遺産と文化遺産の保全・活用を通じて持続可能な地域づくりを行うという理念のもと、日本ジオパークの認定地域を目指しているという。海拔〇〜一、四〇〇メートルの自然に恵まれた西予市には、まだ広く知られていない宝がたくさん眠っているそうだ。その一つ「須崎

海岸」を訪ねた。

三瓶町の中心から海岸沿いを八幡浜に向かって車で十五分。「須崎観音」から急な階段を下りたところに広がる断層海岸。高さ九〇メートルの切り立った断崖がずっと先まで続き、ほぼ垂直に鮮やかな断層面が広がっている。地質学に興味のなかった私だが、悠久の時の流れを感じさせる風景に思わずため息が出た。これを機に、身近なところにある地域の宝を巡り歩きたいと思っている。

文教月報編集協力委員
西予支部OB 井関 由美



新学習指導要領を踏まえた県教育委員会の取組について

今日的な教育課題に対する実践研究状況

学校カアッ実践研究事業より

1 「未来を拓くキャリア教育」への取組

「キャリア教育」は、平成23年1月に出された中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」の中で、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義されています。本事業の四つのテーマの一つ「未来を拓くキャリア教育」では、一人一人が社会的・職業的自立を果たす上で、必要となる能力や態度を育てるため、家庭や地域の教育力を活用しつつキャリア発達を促す教育の実践研究に取り組みました。近年、小学校段階からのキャリア教育が重視されていることから、本号では小学校の実践を紹介します。

2 研究指定校での実践

◇ 新居浜市立神郷小学校

子どもたちは、将来に対して夢や希望をもっていますが、漠然とした不安や自分自身への自信の欠如から、夢の実現に疑問を感じている場合があります。特に高学年になると、その傾向が強くなり、友達との関わり方に不安を感じ、人間関係をうまく築くことができない、しっかりとした自分の考えをもてず自分で意思決定できない、自己肯定感をもてないなどの課題も出てきます。

そこで、学校、家庭、地域が一体となり体験的、協働的な内容を取り入れたキャリア教育を進めることで、児童は、みんなと一緒に活動することの意義を感じ取るとともに、自分を取り巻く社会へ関心をもち、自分の将来を考えるようになるであろうと考え、次の研究主題を設定しました。

研究主題 夢や希望をもち、その実現に向けて努力する児童の育成の在り方
～社会的・職業的自立を促すキャリア教育の実践を通して～

研究内容

- 学校力向上に向けて教職員の意識及び指導力を高める研修の充実を図る。
- 地域や学校の実態を踏まえたキャリア教育全体計画・年間指導計画の作成を行う。
- 社会や職業に関わる体験的なキャリア教育の実践を通して、児童のキャリア発達を促し、キャリア教育に関わる諸能力の育成を図る。

本校は、学校、家庭、地域（企業・関係機関）と連携した取組を行う授業計画案を作成するとともに、今まで取り組んできたカリキュラムの見直しを行い、キャリア教育の目標達成に向けた授業改善を行ってきました。

各学年で、年間指導計画に基づき、身に付けさせる力を明確にした上で、さまざまな体験活動に取り組みました。事前・事後指導を充実させるとともに、保護者や地域の方々に協力していただき、教師自身も多くの人との交流を通じて、地域のよさを再発見することができました。



【わたしのまちをたんけんしよう】
(2年生 生活科)



【発見 いろいろな仕事】
(3年生 総合的な学習の時間)



【人とつながろう】
(5年生 総合的な学習の時間)

◇ 松前町立松前小学校

本校の児童は明るく元気で、のびのびと楽しく学校生活を送っており、地域の方との交流も活発です。昨年度は、コミュニケーション能力の育成に取り組みましたが、自分の思いや考えをもったり表現したりすることが苦手な児童が多く、その一因には、自分自身に自信がなく自己肯定感のもてないことが課題であることが分かりました。そこで、教科指導やさまざまな教育活動の中で友達や身近な人々と関わることを通して、人に積極的に働きかけながらよりよい生き方を見付け、自分なりの夢や目標に向かって努力する児童を育成したいと考え、次の研究主題を設定しました。

研究主題 確かな学力を身に付け、生き生きと学ぶ児童の育成
～人との豊かな関わりを通して～

研究内容

- よりよい生き方を見付け、目標に向かって努力する児童を育成するために、人との豊かな関わりができる体験活動を取り入れた授業実践を行う。
- 確かな学力を身に付けた児童を育成するために、よりよい学び方の指導を行う。
- よりよい人間関係を築いていこうとする児童を育成するために、いろいろな人と関わり、そのよさや楽しさを感じられるような活動を行う。

ここでは、研究内容の一つである「よりよい生き方を見付け、目標に向かって努力する児童を育成するために、人との豊かな関わりができる体験活動を取り入れた授業実践を行う。」について、紹介します。

授業実践を行うに当たって、キャリア教育の内容を拾い出し、基礎的・汎用的能力の観点から分析した上で、主要となる体験学習を設定し、各教科及び教科等、そして行事等の関連を捉えた年間指導計画を作成しました。これにより、全教職員の共通理解の基で確実な取組につなげることができました。

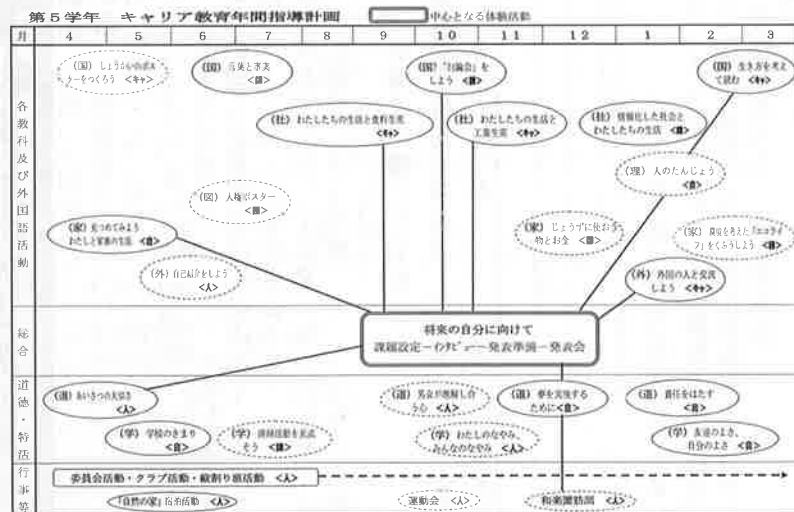
また、全学年において体験活動を取り入れた授業実践を行い、5年生では、地域で働く様々な職種の方から仕事に対する思いを聞く場を設定しました。児童はさまざまな仕事があることに気付くとともに、自分の将来の生き方を考えることができました。どの体験活動においても、地域や保護者の方の協力を得ることで、充実した活動となりました。



【料理人の方の話を聞く】



【漁師の方の話を聞く】



【キャリア教育年間指導計画（抜粋）】

『漢字指導の手引き第七版』『表記の手引き第六版』

小学校で学習する1,006字は、標準字体や許容の書き方など丁寧に解説。新たに「常用漢字表」に加わった196字の字体も、手書き文字で提示！ 定価：1,680円

仮名遣いや漢字の使い分けに迷う語を、用字用例集として整理。改訂「常用漢字表」に対応。原稿用紙の使い方、符号の使い方など、教育現場必携の書！ 定価：1,680円

教育出版株式会社

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
四国支社 〒790-0004 松山市大街道3丁目6-1 岡崎産業ビル5F
TEL: 089-943-7193/FAX: 089-943-7134

積立年金制度

明治安田生命は、みなさまのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人部 〒760-0017 高松市番町1-7-5
法人営業部 TEL087-821-6811

ふるさとスケッチ

西山興隆寺



西条市 東条市 西条市 教諭 白井 未来

No.344

西山興隆寺は、西条市丹原にある真言宗醍醐寺派の別格本山です。町から少し離れた場所にあります。参拝者が絶えることはありません。参道の入口には、立派な仁王門があります。その参道を登っていると、静寂な雰囲気



に包まれ、何とも清々しい気持ちになります。夏はヒグラシの鳴き声が響き、秋は紅葉の美しい寺です。季節の折々に機会を見つけては訪れたい場所です。

ご冥福をお祈りします

Table listing names, ages, and dates of obituaries for various individuals from different municipalities.

第四十回愛媛県教育会俳句募集

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

- 募集期間 平成二十四年八月三十日(木)～十月五日(金)
一般の部 (応募資格は、県内在住の成人)
投句数 雑詠一人二句まで(二重応募は不可)
応募法 はがきに、俳句及び郵便番号・住所・氏名・電話番号を楷書で記入し、左記応募先まで。
ジュニアの部 (応募資格は、県内の小・中学生)
投句数 一人一句(二重応募は不可)
応募法 学校で一括して応募。個人の応募不可。左記様式(A4用紙)で、下学年から順に小一、小二...と記入。
※欄は空欄にしておくこと。

第四十回愛媛県教育会俳句応募作品 ◎市立〇〇小中学校 応募俳句作品 学年 児童生徒名

Table with columns for school name, grade, and student name for the haiku contest.

「注」右記様式の寸法は概寸で可。(単位cm)

- 愛媛県教育会ホームページ「お知らせ」俳句募集に様式あり。
四 応募先 〒七九〇一八五四五 松山市祝谷町一丁目五―三三 愛媛県教育会 俳句募集係
五 選者 未定
一般の部 二名を予定
ジュニアの部 二名を予定
六 表彰及び発表
選者ごとに特選一句、優秀・佳作若干句。一般の部の特選・優秀句には賞状と記念品を、佳作には賞状を贈る。ジュニアの部の入賞者には賞状と記念品を贈る。
入賞句は、「文教月報」(十二月号)に掲載する。
七 備考
応募俳句は有季定型句とします。

祝 受章おめでとうございます

瑞宝双光章(高齢者叙勲)
村上 光男様 88歳 元松山市立たちばな小学校長 松山市

Advertisement for Nippon Education Public Service Relief Association (愛媛支部) with a four-leaf clover logo and text about education, culture, and welfare.

Advertisement for Yoshino Education Books (吉野教育図書) featuring various educational materials like '国語資料総覧' and '理科資料集'.